

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		清潔・衣生活援助と創傷管理技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員		市場 千尋 伊藤 裕子	実務経験と その関連資格	看護師として総合病院に勤務後、看護教員として専門学校に勤務 がん化学療法看護認定看護師			
《授業科目における学習内容》							
人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助に関わる援助方法の基本について学ぶ。人間にとっての身体の清潔の意味を理解して、対象が健康生活を送るために必要な援助の方法を習得する。創傷・褥瘡処置を受ける対象を理解し、基本的な援助技術を習得できる							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験 レポート課題							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
基礎看護技術I 医学書院 系統看護学講座専門分野I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術II 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学 医学書院 看護技術がみえる 臨床看護技術 ① メディックメディア							
《授業外における学習方法》							
・事前学習(ワークシート)							
《履修に当たっての留意点》							
1.身体各部位への清潔の援助を安全・安楽・プライバシーに配慮して行うことができる。 演習関しては必ず演習要項を熟読し、演習内容に関してプリントおよび教科書で手順を確認し手演習に臨むこと。 2.60～70℃の熱湯を使用しますので、火傷に注意してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の清潔の意義と看護師の役割を理解できる。		教科書	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		各コマにおける授業予定	身体の清潔の意義、看護の役割 清潔、衣生活援助技術				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔援助技術方法が理解できる。		教科書	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)	
		各コマにおける授業予定	清潔援助技術方法:入浴・全身清拭・洗髪・足浴				
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	清潔援助方法が理解できる。		教科書・演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)	
		各コマにおける授業予定	清潔援助方法:陰部洗浄・洗面・口腔ケア・衣生活				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	清潔援助の実際を理解し実施できる:口腔ケア		教科書・演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)	
		各コマにおける授業予定	清潔援助の実際:口腔ケア(演習)				
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	清潔援助の実際を理解し実施できる:手浴・足浴		教科書・演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)	
		各コマにおける授業予定	清潔援助の実際:手浴・足浴 (演習)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	清潔援助の実際を理解し実施できる:洗髪	演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)
		各コマにおける授業予定	清潔援助の実際:洗髪 (演習)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔援助の実際を理解し実施できる:清拭・更衣	演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)
		各コマにおける授業予定	清潔援助の実際:清拭・更衣(演習)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	清潔援助の実際を理解し実施できる:清拭・更衣	演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)
		各コマにおける授業予定	清潔援助の実際:清拭・更衣(演習)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	身体各部位への清潔の援助方法を理解することができる	演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること(個人シート)
		各コマにおける授業予定	清潔援助技術方法;陰部洗浄、洗面、口腔ケア、衣生活		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	創傷管理の基礎知識について理解することができる	教科書 演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	創傷管理の基礎知識・創傷治癒過程とそのメカニズム		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	創傷処置・生体機能管理技術の基礎知識を理解することができる	教科書 演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	創傷処置・生体機能管理技術の基礎知識		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	創傷処置・生体機能管理技術の基礎知識を理解することができる	教科書 演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	創傷処置・生体機能管理技術の基礎知識:褥瘡予防・褥瘡処置		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	創傷処置の実際が理解できる	演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	創傷処置(演習)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	創傷処置の実際が理解できる	演習	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	創傷処置(演習)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	創傷管理・援助技術の実施方法について、安全・安楽・自立の観点から説明できる。	教科書	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	まとめ		